



JA葬祭 通信

2022.1月発行 第21号

発行 / 福島県JA葬祭事業連絡協議会
 編集 / ㈱JAライフクリエイティブ福島 生活事業部 催事課
 〒963-0725 郡山市田村町金屋字下夕川原76番1
 TEL024 (942) 5078
 ホームページ <http://www.jalcf.jp/services/kurashi/>
 お客様相談窓口
 (ご意見・ご質問) ☎024 (942) 5078

Contents

- 「JAやすらぎ」オープン
- 「あぐりあ」仏事なんでも相談室開催
- 各種イベントを実施いたしました
- 各種研修会を実施いたしました
- お墓参りの作法

(株)JA福島さくら協同サービス たむら支社 「JAやすらぎ」オープン



〒963-4312 福島県田村市船引町船引字時ノ宮85-2 TEL:0247-82-0099

郡山市「あぐりあ」 仏事なんでも相談室開催

令和3年12月4日(土)～5日(日)、郡山市安積町にあるJA福島さくら農産物直売施設 あぐりあにて、仏事なんでも相談室と題したセミナーが開講されました。(株)JA福島さくら協同サービス 郡山支社が主催する当セミナーでは、あぐりあを訪れたお客様を対象に、お葬式のマナーや仏事の豆知識をお教えしました。香典の書き方やお金の入れ方など実用的な知識に、参加者の方はメモを取りながら耳を傾けていました。当セミナーは2日間で計4回、新型コロナウイルス感染防止のため完全予約制で行われました。参加者にはあぐりあで販売されている季節の野菜が進呈されました。



各種イベントを実施いたしました

第19回県下統一事前相談会を開催

令和3年10月23日(土)、県内15のJA斎場にて第19回県下統一事前相談会を実施いたしました。人形供養祭などのイベントも併せて行われ、約1470名の方にご来場いただきました。来場者にはティッシュボックスやエンディングノートを粗品として進呈いたしました。



(株)JA福島さくら協同サービス いわき支社
ラポール・錦



(株)JA福島さくら協同サービス 郡山支社
JA八山田斎場



(株)JA福島さくら協同サービス たむら支社
JAまごころ



(株)JAサービス夢みなみ
あいりすホール須賀川



(株)JA会津よつば総合サービス
JAまごころ斎苑猪苗代



(株)JA会津よつば総合サービス
JAまごころ斎苑豊川



(株)JA会津よつば総合サービス
みどり葬斎会館坂下



(株)JA会津よつば総合サービス
田島やすらぎ斎苑

終活セミナー開催

(株)JAふくしま未来サービスでは終活セミナーを開催いたしました。

- ・11月21日(日) JA斎場あだたら やすらぎ会館相馬
- ・11月27日(土) JAホールやすらぎ

各斎場約30名の方にお越しいただき、葬儀の歴史やコロナ禍での葬儀等をテーマに、住職による講演を行いました。参加者にはお弁当やエンディングノート、ティッシュボックス等の粗品が進呈されました。



(株)JAふくしま未来サービス JAホールやすらぎ
安洞院 東堂 横山俊邦氏による講演

各種研修会を実施いたしました

令和3年度 第3回 JA葬祭女性部

共催：福島県JA葬祭事業連絡協議会・(株)JAライフクリエイト福島

10月29日(金)、(株)JA福島さくら協同サービス JA大槻斎場にて令和3年度第3回JA葬祭女性部が開催されました。第3回は、(株)農協流通研究所 諸星裕次郎氏を講師としてお招きし、「メモリアルコーナー講座」を実施いたしました。メモリアルコーナーの役割や作成のアイデアを学び、各班で実際にコーナーの作成をしました。限られた時間と材料の中で、学んだことを生かし、想いが伝わるように工夫して制作に取り組みました。

①バイク ②ゴルフ・テニス ③読書
3班でそれぞれテーマ(故人の趣味)を設定して作成しました。



令和3年度 JA葬祭葬儀受付研修会

共催：福島県JA葬祭事業連絡協議会・(株)JAライフクリエイト福島

11月15日(月)、(株)JAライフクリエイト福島 本社会議室にて令和3年度JA葬祭葬儀受付研修会が開催されました。(株)マーケティング・オフィス 小野田正美氏を講師としてお迎えし、営業担当のスタッフを中心に、喪家様との打ち合わせの際のマナー等営業に必要な知識を学びました。研修の最後には、実際の受付業務を想定したロールプレイングを行い、身につけた知識の生かし方を学びました。



令和3年度 JA葬祭葬儀司会研修会

共催：福島県JA葬祭事業連絡協議会・(株)JAライフクリエイト福島

12月3日(金)、(株)JA会津よつば総合サービス JAまごころ斎苑猪苗代にて令和3年度JA葬祭葬儀司会研修会が開催されました。

(株)グランディメモリー 木野島光美氏を講師としてお迎えし、葬儀司会技術を学びました。発声のコツや滑舌トレーニングなどの基本から教えていただき、司会未経験のスタッフも短時間の研修の中でスキルアップができました。実際に使用している司会原稿の添削や原稿の作り方等も教えていただき、業務に生かせる知識が身につきました。



お墓参りの作法

お墓参りですること

仏教において、五供(ごく)をお供えして合掌することが供養の基本になっています。五供とは、以下の5つのことを指します。5つをお供えするのが理想ですが、気持ちがこもっていればすべて揃っていないくても構いません。

※宗派によって異なります。

- (1)香…お線香の香りによって、心と身体が清められると言われています。
- (2)花…清らかで美しい花をお供えます。お参りをする人に向けて飾り、心穏やかにする意味もあります。
- (3)灯燭(とうしょく)…煩惱を消し、明るく照らす光の象徴です。仏壇のろうそくも同じで火を灯すこと自体がお供えになっています。お墓の場合は石灯籠がその役割を果たしており、実際に火を入れることはありません。近年は墓石の小型化によって石灯籠が省かれていることもあります。
- (4)浄水…清らかな水をお供えすることで、お参りをする人の心が洗われることを意味しています。墓石の水鉢(墓石の中央のくぼみ部分)に新鮮なお水を張ります。
- (5)飲食(おんじき)…私たちが普段食べているものと同じものをお供えます。故人の好物や季節の食べ物などをお供えするとよいでしょう。お参りした後は捨ててしまわず、持ち帰っていただくことで故人やご先祖様との繋がりを表します。

お墓参りに行く時期

春彼岸、お盆、秋彼岸、故人の命日、回忌法要などにお墓参りに行く方が多いですが、思い立った時にいつ行ってもよいものです。就職、結婚、出産など、人生の節目の時に故人への近況報告を兼ねてお墓参りをするのもよいでしょう。

お墓参りの持ち物

掃除に必要なもの…雑巾、バケツ、ゴミ袋など

お参りに必要なもの…数珠、お線香、ライター、お供え物(故人の好きだった食べ物や飲み物)、お花など



【掃除の際の注意点】

墓石を掃除する際にヒビやカケがある場合は早めに業者に依頼し補修してください。補修が遅れると欠損部分がますます拡大していきます。

お墓を建てて何十年と経過している場合、お墓の汚れとりや掃除が大変な場合があります。そのような場合は墓石クリーニングの業者に依頼するのもよいでしょう。



お墓参りの手順

- (1)寺院墓地の場合は本堂にお参りした後にお墓へ向かいます。
- (2)お墓の掃除から始めます。墓前で合掌してから枯れ葉などの目立つゴミを拾い、墓石に水をかけながら雑巾で汚れを落とします。
- (3)掃除が終わったら、手桶にきれいな水を汲み柄杓で墓石に打ち水をして清めます。
- (4)花立にお花を、水鉢に水を入れ、お供え物を置きます。
- (5)お線香をあげ、合掌します。
- (6)お参りが終わったらお供え物は持ち帰り、自宅でもいただきます。線香はそのまま燃やし切り、お花はそのままにしておきます。※地域のルールに従ってください。

お墓の掃除の仕方

(1)墓石の水洗い

まず、スポンジなどを使い苔がついている場所を取り除きます。スポンジでも汚れが落ちない場合はたわし(金属製は墓石を傷つけるため避ける)を使います。文字が彫ってあるところは歯ブラシを使うと取りやすいです。ただし、力を入れると石に傷がつくので軽く磨くようにします。

(2)墓石を洗剤で洗う

石材用の洗剤で洗います。ただし、塩素系・酸性系はシミや変色の原因となりますので使用しないでください。

(3)小物類のお手入れ

花筒や線香皿などを取り出してきれいにします。

(4)水をふき取る

水分が残っていると苔が生えるため、乾いたタオルで石についた水気を丁寧にふき取ります。

(5)お墓の周りを掃除

落ち葉を集め、雑草の除去や玉砂利が汚れている場合は水洗いをします。

詳しくは
お近くのJAに
ご相談ください。

県内JA葬祭窓口に関しては
(株)JAライフクリエイト福島
HPをご覧ください。

<http://jalcf.jp/services/kurashi/>

JAライフクリエイト福島

検索

